

寛政三十七年三月下旬記

遠列神社大概 四十一

同列佛相ノ大概 九

同必名所ノ支 十三

同必名物ノ支 十五

同必中江ノ支 京ノ支 附

冬河国 十九

尾張国 廿二

志摩国 二郡 四十二

伊勢国 十五郡 四十五

伊賀国 四郡 六十二

門 163
号 960
巻 6

日本麻子卷第六

東海道十五名國之内

遠江國十四郡大老國 東西

東 八 後河内 西 冬河 必北 信列 南 八 海也

知行高貳拾六万八千八百石

磯名 敷智 山香 佐野

引作 藤玉 長上 長下

山名 城洞 榛原 豊田

磐田 周知

懸河之城 江戸ヨリ

城主代

天保十二年 遠河内領國之時 石川日向守家成

天保十八年ヨリ 六万石 山内野馬守豊

主佐國之知工所習



慶長六年ヨリ 三万石
松平俊成守定勝

慶長十二年為伏見城代賜
五万石

同日
同河内守定行

元和三年ヨリ 三万石
松平敏中守定治

寛永年中山城淀工所督

寛永二年 二万五千石
朝倉統後守宣正

後河大納言政家老

寛永十年ヨリ 三万五千石
青木實藏守備兼成

内之方石寛永十一年加増杉列
尾修工所督

寛文二年ヨリ 四万石
松平大膳亮忠重

信列後山工所督

寛永十六年ヨリ 七万石
松平忠義

正保元年城後村上工所督

正保元年ヨリ
松平俊成守忠清

慶安元年丹波龜山工所督

慶安元年 三万石
北條玄根守氏重

万治二年死去

万治二年ヨリ 三万五千石
井伊兵部守備忠

嵩城主

四万石松平遠三守
六万五千石
小笠原佐渡守長寛

同國
○横須賀之城 三万石

城主代

天正十年 二万石
大倉俊五郎元為康
後林平氏之賜

同日大須賀康平

松平五郎元為忠政
上総久米村工所督後号出根守

天正八年ヨリ 三万石 後水尾門作

三万石 後檢地高五万五千石 有馬玄蕃治豊民 丹波福地山王所督

慶長五年ヨリ 五万五千石大領 松平出羽守忠政

同ヨリ 同五郎左衛門忠波

元和五年ヨリ 二万六千石 松平大隅守重勝

同ヨリ 同丹後守重忠 元和九年出羽上内所督

元和九年ヨリ 五万二千石余 井上主計次正就

四万七千石 同河内守正利 外五千石八弟弟力配分 常陸笠間工所督

正保二年ヨリ 五万五千石 松平信房守忠利

五万石 同 越前守利長 外四万五百石八弟弟八郎二千石 同井上共庫利朗配分新田去

○當城主

三万石 西尾徳次守忠直

○同國濱松之城 江戸ヨリ

元龜二年 徳川居城

其後 十二万石 坊尾帶刀吉晴

天正八年 同 信濃守忠茂 後早川守 同 信濃守忠茂 元和五年 出雲松江工所督

慶長六年

五万石

松平左衛門忠頼

慶長四年以後

三万石

水野野馬守重伸

常陸公頼宣家長

三万五千石内五千石寛永
十年加増

元和五年ヨリ

高力根津守忠房

寛永十五年肥前橋本工所替

寛永十五年ヨリ

三万六千石余
松平和泉守兼壽

正保元年上列飯林工所替

正保元年ヨリ

三万六千石余
太田備中守資宗

同 根津守

延宝五年揚州大坂所代
ナリ順知替

五万石

青山因幡守

延宝五年ヨリ

同

青山和泉守忠親

和泉守依子才下野守
歌

同 下野守

當城主

七万石

松平忠信宗俊

元禄十八年ヨリ

同 伯耆守宗俊

同 田原守奉行

与方十二万
石八千人

同 中津奉行

与方六万
石八千人

三年九百石
迎友後家

同 田原代官

百俵中泉

金山古丸

三百石河合村

長原古丸

二百俵野村

本庄古丸

百俵 長谷川友之

法外 遠州各所代友

百俵 新田村 大系をたつ

百石市の内 市地地をたつ

二百石川尻村 万年三たつ

二百石中々 秋原長雲湯

遠州神社之大概

當國之寺社之概 所治世以後
所寄附之寺社

○小国大御神

田知郡 一宮村之

社八五 自九十名余

為社の所非大已貴命乃密跡と
して天正二年 源家康公の
御再興也 小国一宮ト云く

社主 小国源正

社友 築民戸
月 右重

社務 八平三石 蓮湯院

右介社人社務

○五社大御神

三石 須松

社主 森林氏部

○諏訪大御神

三石 右月

社主 杉浦官内

○同社

十五石 石金村

○同社

十七石 桐月村

○八幡宮

七十七石 梅田村

○八幡宮

五石

井主

日坂

○月社

二十石

平尾村

○同社

三十石

後坂庄

○同社

十八石

玉村三之

○同社

十二石

中尾村

○月社

十五石

新奥村

○月社

十五石

三陽村

○同社

十五石

井宮三之

○同社

十五石

宇志村

○同社

社从十五石

貴谷村

○同社

社从十二石

井主
中村三

○同社

社从十石

市神村

○同社

社从十石

大知坂村

○同社

社从十石

横山村

○同社

社从十石

石川村

○同社

社从十石

石谷村

○同社

社从十石

十九目所

○天王

社从三十三石

石森村

○天王
社八十三石

修司村

○同社
社八十八石

新井所

○同社
社八十五石

東村

○同社

社八十一石

北西村

○天神

社八十五石

社主 三陽作兼
具行之宮

○同社

社八十一石

龜田村

○神明

社八十一石

別名 長福寺

兼田村

社主 中村十右衛門

○同社

社八十一石

下屋草村

○六所大御所

二十五石

小浜村

○鎌田御所

百石

松田村

別名 大倉家

○浅乃御所

十六石

台門村

○同社

十石

浅草宮

○白根大御所

百石

白根村

○麻生大御所

十石

七松村

○山御所

社八十一石

浅草宮

○同社

社八十五石

刑部村

○同社

三百六十石

林立村

○同社

三十五石

松尾村

○同社

二十七石

木場村

○同社

十五石

貴谷村

○松尾大の村

三十石

本村

○横須賀大の村

社

横須賀

寛政八年戊辰。宝元年九月。以大市販の命と勅。一。廿。二。

○惣社

四十二石

横須賀

○池之宮

十石

佐倉村

○白山権現

社

頼尾

○木下権現

社

本束村

○山王権現

社

茶臼村

○権現

社

平野村

○同社

社

山佐村

○同社

社

寺松村

○同社

社

康徳村

○東照宮

社

照河

別当親花院

○遠列國中佛相是大概

○鴨江寺 傍松立

寺从二百五十名真言宗
不之知音

○大輪寺 日所立

寺从七十名石同宗

○龍禪寺 日所立

寺从五十名石同宗

○應喜寺 日所立

寺从二十名石同宗

○阿弥陀寺 日所立

寺从百名石同宗

○法輪寺

寺从二百五十名石同宗

○西樂寺 市場村立

寺从百二十名石同宗

○油山寺 村松村立

寺从四十名石同宗本之義宗

○岩水寺 岩松村立

寺从甲三名石同宗

○常樂寺 中込立

寺从十五名石同宗

○蓮花寺 丁子立

寺从五十名天台宗

○普門寺 大洲立

寺从二十名石同宗

○可睡^{カネ}寺 久野村立

寺从二十五名

後列遠久三列三五箇曹洞派
乃傍孫也

○大洞禪院 橋谷立

寺从五十名余洞家宗

号橋廬^{ハシノ}梅番所^{ウメノ}也寺乃

石雲院 此寺石雲の系よりわり敷る
石雲院 此寺石雲の系よりわり敷る
石雲院 此寺石雲の系よりわり敷る

石雲院 此寺石雲の系よりわり敷る
石雲院 此寺石雲の系よりわり敷る

○光善寺 二役村に立
寺ハ二十五石右同宗

○普濟寺 廣松に立
寺ハ二十五石右同宗

○苑法寺 白濁に立
寺ハ二十五石右同宗

○光順寺 寺ハ二十五石右同宗
此寺唐土瓦葺なり

○秋葉寺 右同宗
寺ハ二十五石右同宗

○龍泉院 坂田に立
寺ハ二十五石右同宗

○正法寺 岩波山に立
寺ハ二十五石右同宗

○永江院 龍崎村に立
寺ハ二十五石右同宗

○善如寺 龍門に立
寺ハ二十五石右同宗

○長松院 奥野に立
寺ハ二十五石右同宗

○金剛寺 寺ハ二十五石右同宗
此寺金剛の系よりわり敷る

○金剛寺 寺ハ二十五石右同宗
此寺金剛の系よりわり敷る

○金剛寺 寺ハ二十五石右同宗
此寺金剛の系よりわり敷る

○金剛寺 寺ハ二十五石右同宗
此寺金剛の系よりわり敷る

○後名寺
寺从三石右同宗

○龍泉寺
寺从三石右同宗
赤波立

○常慶寺
右同宗
久保村立

○平田寺
寺从辛石渡家宗
平田村立

○高廣寺
寺从五石渡家宗
上吉田村立

○能福寺
寺从三石渡家宗
保良村立

○宝珠寺
寺从三石右同宗

○中藏寺
寺从三石余右同宗

○龍禪寺
寺从三石右同宗

○西傳寺
寺从半七石渡家宗

○撰安寺
寺从半三石右同宗
懸川立

○天然寺
右同宗
巾場立

○林光寺
右同宗
成徳村立

○阿弥陀寺
右同宗

○教興寺
寺从六十五石法義宗
候松立

○本因寺
寺从半石右同宗
龍津立

○妙立寺
寺从七十八石右同宗

○肖光寺
寺从五十五石右同宗
奥付立

○正福寺

一白家

上山梨立

○了徳寺

右同宗

舞川立

○好来寺

右同宗

日所立

○次後寺

右同宗

日所立

○西光寺

寺依三十二石

見付立

○長貞寺

寺依二十五石

中村立

○二諦坊

寺依四十二石山伏

法松立

○地福院

寺依十二石山伏

加茂立

○観行院

山伏本寺平手観音

舞川立

○遠江國名所

○三所山

二川の宿と白波川の宿との間に
小川南へ海へ通る右大石の間に
雲のわら栞をうけ方あり、
三所の山に麻をうけあり

○塩原坂

白波川の宿より海へ是より南
のりふをいぬるるに之は海へ
通ぬの事地あり

○橋中

日取の漆より二里の橋中あり、
水海あり

三所山ありありありありあり
橋中より海へ通るるあり

○漆石橋

入海よりありありありありあり
三里余ありありありありあり
小川よりありありありありあり

のゆふ今とありて一里に谷津海

○天徳所

源社の名と見付の言の方り
そく大河の野乃言の世河とこ
ゆりとして

此川のそあ流もみあり

んんんのよらひと見んふ

○今の浦

見付の名と所より水海あり
鴨長船所一員の家

作の音とねん流もこの浦

このの里のそあとてさく

○京川

袋井の宿と懸川のそあ
わさ川にわたり南に流るり

京川や懸川に水のそあ流る

すじ里人のそあをり

○懸川

宿の名と作野のそあにひあ
若ねのそく葛命と云のそ高え

これそ故里のそあひとひん

葛とそ布と懸河のそあ

○新の浦

懸川より行ね五里より東南
みよはわたりて海名也根食と云

所漆わりの釘の浦大磯の漆と云

舟入也姓名と云釘の浦と云也

高浦よりりら和布と云高名

名おあつとつ之所のそあ云

そるそあ

釘の浦よりそ流の音と云

○作中島

日坂の宿より令若の宿(城)中
島也(は若)のそあ本れ松と云

より西行は流のそあ

年よひとまことゆふとみん

令下ありりり作中島

あたまのそあ流のそあ

たのうた様を池と云わつらるるもの
 乃中記ありと云ふ事ありと云ふ事あり
 お遠のうた様所より六行ね二里
 余東南のうた様と作念村と云
 所よあそく文字も作念書也
 縁記かほつるありと云ふ事あり
 不記○西坂と云所たのうた様より
 八幡の宮ありたのうた様と云事
 あり世所ありと云ふ事ありと云
 たのうた今今浦と云ふ海あり
 ○中泉町是より二里有余り
 ○天降川海ありと云川一里あり
 池田の宮長者の住はつと云事
 あり平れ字盛てと云ふ事あり
 子乃石塚今と云あり天降川あり
 ねん池田のうた様と云事あり
 ○中の町○あんま町控わりと云
 十字あり○かた村町のうた様あり
 った○さこの系と云ふ事あり
 家康との所保陽正和運の池也

○植松村ありと云事あり
 ○淡ねありと云事あり
 二里中町

○赤塚○篠原新田たのうた様あり
 ○雲井村たのうた様あり
 入海也と云事あり

○舞坂ありと云事あり
 荒井一里

○後赤井院の應八年六月十日
 大地震あり大山ありと云事あり
 入海と云事あり

○荒井ありと云事あり
 白須ありと云事あり
 一里中町

○所ありと云事あり
 荒井ありと云事あり
 一里中町

○所ありと云事あり
 荒井ありと云事あり
 一里中町

○所ありと云事あり
 荒井ありと云事あり
 一里中町

○所ありと云事あり
 荒井ありと云事あり
 一里中町

○所ありと云事あり
 荒井ありと云事あり
 一里中町

○所ありと云事あり
 荒井ありと云事あり
 一里中町

○所ありと云事あり
 荒井ありと云事あり
 一里中町

各所の如きありしくあり
○その所は○橋本やよみ海あり
南西へ流るく白砂の南に川流
入あり

○白旗がえり二川エ 二里土所
所たるまに地は坂あり○さる
たのりし解とまのさるあり
○場橋冬河をまのさるあり
いさだ橋あり

是よりまの宿く冬河の
圃の分りあり

東海道十五ヶ国之内

○冬河國八郡下之圃 四万五千

知行高二千三百六十石

碧海 八名 役所 匠

○吉田之城 長ヨリ七十二里

城主代

永禄七年 酒井正衛尉忠次

同 左衛尉尉家次

天平八年 池田三左衛尉輝政

慶長五年 松平玄蕃家清

同 氏次補忠清

慶長七年ヨリ 松平主殿忠利

寛永九年 同圃 荻原所督

寛永九年ヨリ 水野隼人正忠清
寛永十八年 信利松平主所督

寛永十八年ヨリ 四万五千石 水野監物

正保二年同国是後之所留

正保二年

四万石

同 城守長頼

外三子名同丹後守二子名同
外記配分

同 志成守長祐

元禄二年志成守死去依子
弟佐後守依式相續之

同 佐後守

當城主

八万石

松平伊豆守信高

宝永二年

○田傍之城

長七十里

代々城主之次第

三河河原國之時

御居城

原隠守

十方石

甲兵約頼補吉政

慶長五年統後久苗来之所留

慶長五年ヨリ

五万石

同 豊後守廣

同

同 豊後守康重

五万五千石内五千石寛永
十年加添

正保二年遠列横次守所留

正保二年ヨリ

五万石

水野監物忠善

○當城

水野和泉守忠之

西尾之城

長七十里

同国

○代々城主

持分
甲兵助補吉政

慶長七年ヨリ

二万石
本多孫助康俊
元和三年出江原所工所習

元和三年ヨリ

二万石
松平將監成重

元和三年ヨリ

二万石
本多千總守俊次
寛永十三年後務龜山所習

寛永十九年ヨリ

二万五千石
太田仙中守實宗
正保元年後務松平所習

正保三年ヨリ

二万石
井伊兵助補貞之
万治五年後務河内所習

万治五年ヨリ

二万石
増山彈正張形正利

寛文三年ヨリ

二万三千石
同兵助補利須
寛文三年常陸下飯所習
赤兵庫改利長

○當城主

同
伊豫守利忠
兵庫友養子実父稻葉美彦

同國

○新屋之城

江戸ヨリ七十二里

代々城主

水野氏代居之

水野和泉守忠重

慶長五年ヨリ

二万石
水野日向守勝成
元和二年和州郡山工所習

元和三年ヨリ

二万石
水野隼介忠清
寛永九年同國吉田工所習

寛永九年ヨリ 三万石
松平主殿以忠房
慶安三年丹波福知山所看

慶安二年ヨリ
松平徳也守定政

慶安四年ヨリ 二万三千石
稻垣根津守重種

富城主 二万三千石
三浦玄波守

田中城 江戸ヨリ七十里十九町
但三河通

明徳年中彈正左衛門宗光筑之

代々城主 戸田彈正左衛門宗光

同 彈正憲憲光

同 左近政光

同 彈正安彌某

彈正安彌某其男在左衛門某其子
三郎右衛門忠次其兩代依令疏浪今川
義元持分但忠次成長之後為其列
下田之城至五千石領之至其代又為
當城主

慶長六年ヨリ 二万石
同 土佐守之次

同 因幡守忠能

同 伊予守忠治

寛文四年肥前所看
三宅徳也守康勝

後土佐守上改自寛文四年大坂
之番死去

同 備前守

大橋 江戸ヨリ七十九里

松尾通家八領之
七方石

同国
○采女
江戸より八十三里
七方石

本多兵庫忠就

同国
○玉繩
江戸より七十五里
二万二千石

松平彈正重頼

同国
○伊保
江戸より八十里
七方石

本多勝之助

○同国河郡代

七百石
中務五郎

同河郡代

千石
松平右衛門

二百石
松平八右衛門

二百石
松平左衛門

二百石
松平五右衛門

遠列冬列之河郡代

○冬河國中神社大概

冬河國中神社由浩之之むより心之河
河内世の後河内寺附之神社あり
宗代之宗創縁記不詳

○砥康大御所
宝飲郡之

社

為社の所社体大已貴命乃
跡より冬河の中宮也ト云ク

○宮本宮
両宮建立
社主 庶件

社主 庶件

○大頭宮
社主 三之丞

○八幡宮
社主 三之丞

社主 三之丞
社主 三之丞



志摩守之國 磯部太神宮

○八幡宮

社从百五十石

中村之

○同社

社从百五十石

八幡村之

○同社

社从六十石

長瀬村之

○同社

社从三十石

小浜村之

○同社

社从三十石

西尾之

○六所大御所

社从五十石

社主大竹

○天王

社从二十石

八面村之

○同社

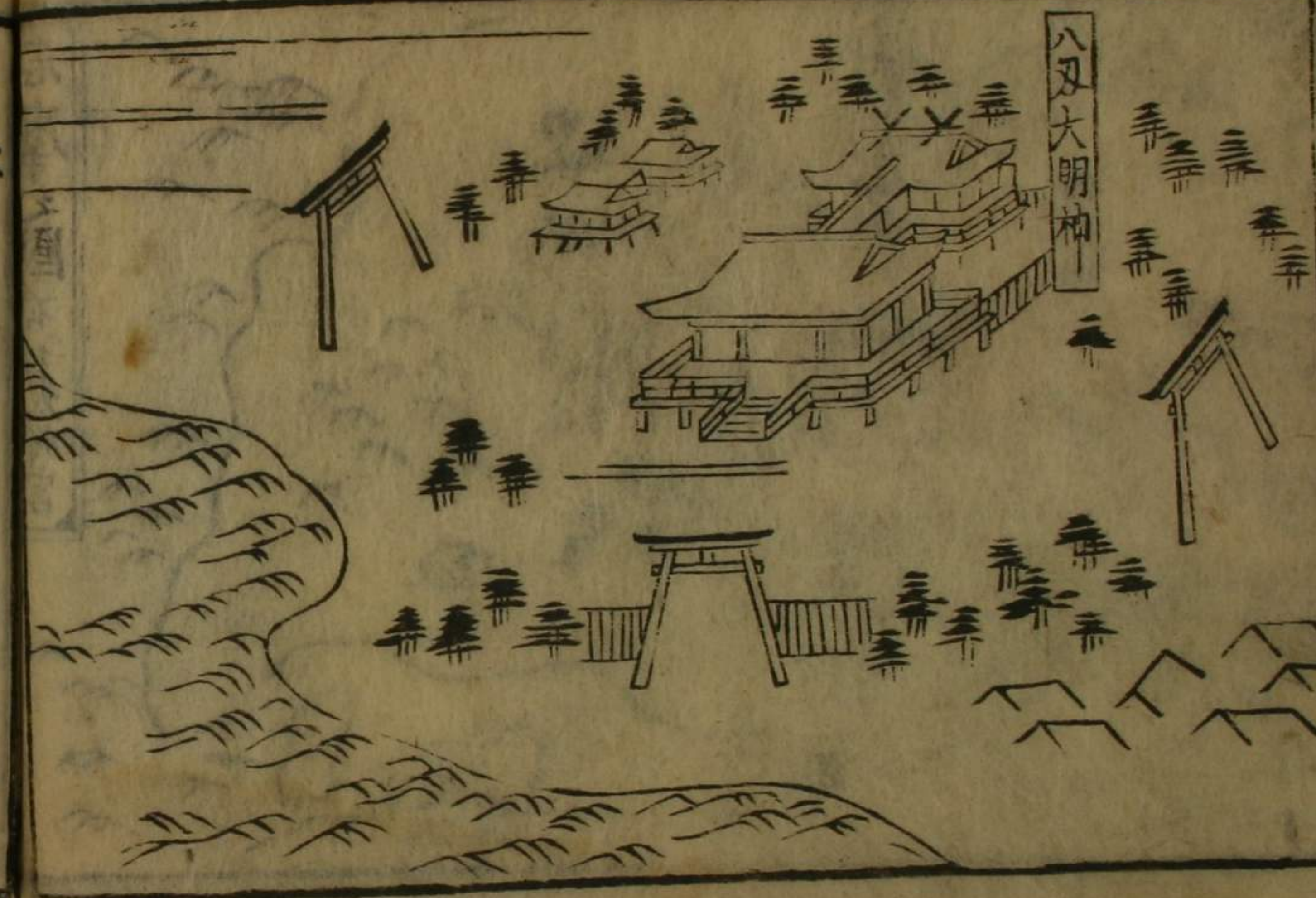
社从十二石

藤原村之

○同社

上野村之

尾張之國熱田大神宮



八又大明神

○同社 社从十石

篠塚村之

○神 社从十石

吉田之

○同社 社从十石

中嶋之

○同社 社从十石

植永村之

○吉田天王 社从三十石

吉田之

○熊野權現 社从三十石

園所之

○大釘神社 社从十九石

尾海村之

○大門神社 社从三十石

○林戸神社 社从三十石

○ 賀茂神社
社从百名

○ 校投神社
社从十名余

池鯉鮒主

○ 梯井神社
社从十名

○ 田山神社
社从百二十名

大相主

○ 稻荷神社
社从二十名

○ 下宮神社
社从二十名

○ 東照宮
社从七百名

風来寺主

社僧大古

○ 同國中諸宗佛閣之大概

○ 風来寺
寺从七百名

天台宗寺之

○ 滝山寺
寺从六百十名

天台宗

○ 高山寺
寺从二百五十名

天台宗

○ 東観音寺
寺从百二十名

天台宗

○ 真輪寺
寺从二百名

天台宗

○ 泉福寺
寺从百十名

天台宗

○ 賤賀寺
寺从百六十名

天台宗

○ 沐光寺
寺从五十名

天台宗

○尚質寺

寺从干石右同宗

○蓮花寺

寺从五石右同宗

○法恩寺

寺从正五石右同宗

○長久寺

寺从十六石右同宗

○正宗寺

寺从十六石右同宗

○寶相寺

寺从七十六石

龜山院文永八年足利滿氏公
建之山爾開山ト云ク

○之隆寺

寺从二十五石右同宗

○正覺院

寺从二十石右同宗

○赤名寺

寺从五石右同宗

○淵涉寺

寺从十九石右同宗

○大茂寺

寺从十八石右同宗

○花山寺

寺从二十五石右同宗

○長久寺

寺从十六石右同宗

○惣持寺

寺从百石右同宗

○極樂寺

寺从三十石右同宗

○雲貞寺

寺从百九十九石右同宗

○長圓寺 中流寺
寺从五百石右同宗

○長因寺
寺从百石右同宗

○金久寺
寺从二百石右同宗

○常光寺
寺从二百石右同宗

○林泉寺
寺从二百石右同宗

○沙海寺
寺从二百石右同宗

○本光寺
寺从二百石右同宗

○悟真寺 吉田立
寺从八十石 淨土宗

○大樹寺
寺从五百石右同宗

○大林寺 尾宿立
寺从百石右同宗

○法苑寺
寺从千石右同宗
東照宮御所
御所御所
寺从千石右同宗

○大音寺 水戸村立
寺从百石右同宗

○松應寺
寺从百石右同宗

○弓月寺 杉平村立
寺从百石右同宗

○萬松寺
寺从千石右同宗

○光徳寺
寺从百石右同宗

○養尊寺 吉田村立
寺从千石右同宗

しりしえら死の長らむ、一法とて
あり世所と見えぬ、いふ事、山は
日本武の号、東夷、やうは、んを
て世所、まうり、え、ま、く、ゆ、く、
あり、うり、世名、あり、と、え、ゆ、ん
ま、ね、ま、ふ、ん、し、り、の、さ、ら
え、ら、死、の、川、乃、海、ハ、一、む、う

○宮地山

夫作の里よりを、一、小向の里也
よ、よ、門、あり、山、の、さ、ら、手、は、攪
え、の、う、ん

ま、あ、ら、う、を、井、ん、ら、宮、地、山
あ、ら、う、ゆ、ん、さ、ら、さ、ら、あ、く、よ

○二村

宮地山、ら、く、あり、我、ま、の、ま、
投、仲、納、言、傍、忠

二、村、二、村、の、う、ら、く、ま、
あ、ら、う、さ、ら、あ、く、ま、あ、ら、う、ま

○三の里

二村のり、ハ、也、行、行、も、里、ま、り、也

二、村、山、と、納、く、ま、ら、う、ま、く、

○豊河

今、橋、と、ま、里、ら、り、也、三、河、乃、水、の
ゆ、ら、つ、ま、え、八、橋、と、ま、あ、ら、う、遠
い、の、ま、ま、山、の、あり、く、あ、ら、う、中、ま
あ、ら、う、ま、山、あり、ま、あ、ら、う、は、ま、
河、也

狩、人、の、ま、ま、れ、ふ、と、あ、ら、う、ま、
あ、ら、う、ま、ら、ん、豊、河、乃、原

○日野

豊河、ら、り、あ、ら、う、ま、あ、ら、う、ま、

○花園山

花園山、あ、ら、う、ま、あ、ら、う、ま、
ち、の、ま、ま、川、乃、海、ハ、一、む、う

同國中名物出所之部

○雲母 吉良 名倉砥

○矢根 伊豆期、ま、
海、ま、ら、り、也

○石貝 イシガイ 雜海藻 ミカイサワ 足代狐 アシノイタチ

○岩坊 イワボ 藪 ヤブ 荊 トウワリ 奇居虫 オキイナシ

○ヒロテ ヒロテ 海龍腸 ウミリウ 平川 ヘイケン 名物也

○道法付 ミチホウツケ 為國中之分

○白次 シロジ 旗 ノボリ 二河 ニカ 二里 ニリ 土所

○二河 ニカ 二里 ニリ 土所 土所

○二河 ニカ 二里 ニリ 土所 土所

○赤坂 アカサカ 十六町

○赤坂 アカサカ 十六町

古儀の儀ありと云々大木乃松に在

○赤坂より 友河ニ 二里九丁

○友河より 友河ニ 二里九丁

○友河より 友河ニ 二里九丁

○友河より 友河ニ 二里九丁

○友河より 友河ニ 二里九丁

○友河より 友河ニ 二里九丁

○友河より 友河ニ 二里九丁

○友河より 友河ニ 二里九丁

○友河より 友河ニ 二里九丁

○友河より 友河ニ 二里九丁

○池裡射より 友河ニ 二里九丁

○池裡射より 友河ニ 二里九丁

○池裡射より 友河ニ 二里九丁

○池裡射より 友河ニ 二里九丁

○池裡射より 友河ニ 二里九丁

是より来乃 宿は尾張 國乃分よき

東海道十五ヶ国之内

○尾張國八郡大上國南北三百
知行高卑分八百四石

海部 中務 羽栗 丹羽

春日部 山田 愛智 智多

當資 鴻タカシ

○名護屋之城

江戸より東海道半
六里七丁
東仙道百三十三丁

當國清須八信長之後天正十一年
德田信雄為居城天正十八年信雄
被没叔中納言秀秋領當國
関ヶ原没之此福嶋正則居之其後
忠吉親吉猶左清須城尾張國賜
義直移名護屋慶長十五年築

慶長五年尾張國主

居城清須 松平薩守忠告

慶長十五年後

土方石

平岩主計次親吉

居城清須

慶長五年

本志方九十九条

尾張大納言義直殿

濃列信列共

○當河城主 清代相續

同高島

尾張中納言吉通

同國

○犬山之城

江戸より九十八里

代々城主

元龜初

後勝八下号々

池田勝三郎信輝

天正九年

信長之息 織田信三郎勝長

天正十七年

信雄家臣 中川勘右衛門

天正十二年

慶長四年石田三成謀反
配佐竹 芳勘兵衛雄久

其以後清須城主分

石川備前守

大納言義直卿家長城代

成瀬隼人正成

同 隼人正虎

○當城代

同 隼人正親

○同國神社之大概

○熱田大社神

社領七百十石 在万石ト云シ

大宮司

五所丸

社家 主殿

推正

在東

社傍 如法院

右之内社人社傍收多

為社大御所ハ日本武考の所
跡或曰景行天皇甲午九年熱田
社由國新市郡那湯市村
無跡ト云ク

又曰當社神体ハ
神也社代の所ハ天照太孫の

武吉天津と云ふあり地はこも海
乃女子のくく入りの射目言わね
宿とりのありんと云ふ身は二儀氏
ねとつひの巨且ねと云ふは
乃ものあり兄の獲氏、云ふわし
く弟乃巨且のさうり、云ふんは
りありんとおやせらるる、云ふ
も、云ふと云ふんは、云ふ巨且
と云ふをのめ也今金孫の、云ふ
い、云ふ地巨且おやの、云ふ
相又獲氏おやの、云ふ、云ふ
恩に天下渡、云ふ、云ふ、云ふ
ん子孫の、云ふ、云ふ、云ふ
乃、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
の世、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
小れと初、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
人の身、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
三、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ

身一、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
白、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
津、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ

身二、福田、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
身、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
行、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
世、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ

身三、八、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
作、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
す、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
を、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ

地、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
び、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
あ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
三、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
勝、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
作、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
本、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
只、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ
只、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ、云ふ

武吉天津と云ふあり地はこも海

○直清田の林

中修院

高松乃所林矣大已貴命の所
則高松乃一宮也ト云ク

○虫齋の林

丹波郡

○割栗の林

丹所

○八幡宮

名護屋

○天神

丹所

○東照宮

龍山寺

津領主

○國玉天の神

山王村

○愛宕山権現

相栗郡
中ノノ

高松乃山城國也名郡愛宕
権現ト云テ所也ト云ク

同國佛摺之大概

○万松寺

高松乃後奈良院天文五年中
織田備前守建之ト云ク

○雲光院

名護屋

旧家字也

○四福寺

丹所

右向字

同基之國作の身子室を禪
作無山院文永年中以建之
云ク

○正念寺

丹波郡

右向字

○大雲院

山田村

右向字

高松乃惠云禪作乃同基
本寺行基の作佛也

是の地を渡すの所ありすのまゝとて
云所より下俣よりえりまゝとて
徳雅光のうゑん

名はさるる所は此の浦のわさけ
らんらるる、ろくくわとてささけ

○菅原原

下俣より二里より北あり

東流する川の東にありて
おろくろくこんん神はりのうか

○徳田

まわりより社乃所は是
より西へ海あり徳田乃所
りあり

○鳴海

若乃名也徳田より行て二里
中余也

若あはわらひ鳴海乃里はそ
れよりさきとてする

○上野

鳴海の若より西よりあり

鳴海の中よりあり

鳴海は陸干に浦ありあり

上野乃りてはりあり

○雲井の浦

陸干より鳴海乃名は雲井の
この浦をさるるあり鳴海乃
名はなりてはりあり

○星塚

若乃名は鳴海ありてはりあり

○長谷の里

若乃名は鳴海ありてはりあり

神より人をもてはりあり

○松風の里

若乃名は鳴海ありてはりあり

東海道十五箇之内

○志摩一郡下之國 四方半目

知行高方七千八百四石

各志 英虞有 雍尾嶋

○戸羽之城

舟路百十四里 舟海の真標 二ノヨリ伊の御通 海上英方 九里二千町

代々城主之次牙

九鬼大隅守嘉隆

五万六千石

同長門守守隆

三万五千石余

内膳守賀守忠重

同形源守忠種

同和泉守

延享八年死去

土井周防守利益

當城主

五万石

板倉道江守

同國神社寺院之部

○伴雜宮

善志林被部之庄 上の郷

神司

中長官

瀬古長官

右之外河内社務之々々

○^{タキハラ}鮫神社

伊勢志 本國之傳也

○^{シラグシノホコラ}社宮司祠

之祖之

依^{シラグ}一陌の林と云^{シラグ}つもの林と知
後^{シラグ}ザ^{シラグ}い^{シラグ}や^{シラグ}記^{シラグ}不^{シラグ}祥^{シラグ}或^{シラグ}人^{シラグ}曰^{シラグ}
棗^{シラグ}田^{シラグ}彦^{シラグ}の^{シラグ}命^{シラグ}と^{シラグ}わ^{シラグ}り^{シラグ}ま^{シラグ}り^{シラグ}つ^{シラグ}所^{シラグ}也^{シラグ}
ト^{シラグ}云^{シラグ}く

○^{シラグ}権現

浦村之

為^{シラグ}法^{シラグ}の^{シラグ}旨^{シラグ}士^{シラグ}権^{シラグ}現^{シラグ}と^{シラグ}物^{シラグ}法^{シラグ}の^{シラグ}地^{シラグ}也^{シラグ}

○^{シラグ}成庵寺

之祖之

由^{シラグ}寺^{シラグ}の^{シラグ}慈^{シラグ}山^{シラグ}院^{シラグ}の^{シラグ}所^{シラグ}字^{シラグ}文^{シラグ}永^{シラグ}六^{シラグ}年^{シラグ}
系^{シラグ}創^{シラグ}因^{シラグ}基^{シラグ}義^{シラグ}堂^{シラグ}和^{シラグ}尚^{シラグ}と^{シラグ}云^{シラグ}く

同國名所之部

○^{シラグ}麻生の浦

之^{シラグ}祖^{シラグ}城^{シラグ}下^{シラグ}より^{シラグ}辰^{シラグ}乙^{シラグ}の^{シラグ}く^{シラグ}ら^{シラグ}わ^{シラグ}り
て^{シラグ}行^{シラグ}程^{シラグ}二^{シラグ}里^{シラグ}中^{シラグ}也^{シラグ}浦^{シラグ}村^{シラグ}と^{シラグ}云^{シラグ}所^{シラグ}也^{シラグ}
わ^{シラグ}り^{シラグ}と^{シラグ}云^{シラグ}所^{シラグ}也^{シラグ}麻^{シラグ}生^{シラグ}の^{シラグ}浦^{シラグ}乃^{シラグ}祖^{シラグ}也^{シラグ}
権^{シラグ}現^{シラグ}乃^{シラグ}祖^{シラグ}也^{シラグ}と^{シラグ}云^{シラグ}所^{シラグ}也^{シラグ}

○^{シラグ}まりのぬ麻

ま^{シラグ}り^{シラグ}の^{シラグ}ぬ^{シラグ}麻^{シラグ}の^{シラグ}名^{シラグ}久^{シラグ}の^{シラグ}様^{シラグ}麻^{シラグ}乃^{シラグ}
志^{シラグ}げ^{シラグ}く^{シラグ}も^{シラグ}り^{シラグ}乃^{シラグ}浦^{シラグ}を^{シラグ}ま^{シラグ}り^{シラグ}

○^{シラグ}斤枝の梨

斤^{シラグ}枝^{シラグ}の^{シラグ}梨^{シラグ}の^{シラグ}名^{シラグ}久^{シラグ}の^{シラグ}様^{シラグ}梨^{シラグ}乃^{シラグ}
志^{シラグ}げ^{シラグ}く^{シラグ}も^{シラグ}り^{シラグ}乃^{シラグ}浦^{シラグ}を^{シラグ}ま^{シラグ}り^{シラグ}

○^{シラグ}かぬぬも

ある蛙 鏡石

右^{シラグ}乃^{シラグ}分^{シラグ}法^{シラグ}麻^{シラグ}生^{シラグ}の^{シラグ}浦^{シラグ}名^{シラグ}所^{シラグ}也^{シラグ}

○^{シラグ}安太子の溪

面白乃松

戸^{シラグ}取^{シラグ}の^{シラグ}城^{シラグ}下^{シラグ}より^{シラグ}南^{シラグ}に^{シラグ}わ^{シラグ}り^{シラグ}て^{シラグ}海^{シラグ}
邊^{シラグ}五^{シラグ}里^{シラグ}と^{シラグ}云^{シラグ}り^{シラグ}也^{シラグ}

名^{シラグ}の^{シラグ}お^{シラグ}の^{シラグ}あ^{シラグ}の^{シラグ}ま^{シラグ}り^{シラグ}は^{シラグ}溪^{シラグ}乃^{シラグ}名^{シラグ}所^{シラグ}也^{シラグ}
いつ^{シラグ}と^{シラグ}云^{シラグ}ら^{シラグ}ぬ^{シラグ}面^{シラグ}白^{シラグ}乃^{シラグ}名^{シラグ}所^{シラグ}也^{シラグ}

同國名物出所之部

大泉

○ナ留戸リウコ羽ハ根ネ 塩シホ練レン 出デるル也ヤ

○ニホツケ同塩漬ドウシホツケ 同ドウ之ノ也ヤ 地ノ安キト

○シニシ真珠貝マシラカイ 井貝イカイ 新ナ冠カウ苔カモシ

○マキ和布ワフ 漏破ロハ 善タカ志シ者シヤよりリ 出デるル海ウミよりリ 五イヒ

○マフ麻生マウのノ浦ウラ梨ライ

東海道十五ヶ國内

○イナ伊勢國イセ十五郡イナ太タ上ウ國クニ 三百ヒャク餘ノ

知行チカウ高タカ平ヘイ七シチ万マン七シチ百ヒャク十ジュウ石シヨク

粟アハ各カク胡コ的テキ 於オ廉レン 志シ

飯イヒ每ヘ 三サン重ジュウ 安ア濃ノ 飯イヒ

○クナ桑名クナ之ノ城シロ 九十ジュウ四シ里リ 三十ジュウ三サン

物而伊勢國六國司北畠代ノ 傾カサ之ノ國クニ中ノ之ノ諸シヨ城シヨウ彼カ一イツ家カ也ヤ

氏ウヂ家イヘ内ノ膳テウ正テイ

慶長ケイチャウ五イツ年ネンヨリ 十七シチ万マン石シヨク 本ホ多タ中チュウ務ブ大ダイ浦ウラ忠チュウ勝ショウ

同ドウ 表ヒラ濃ノ守シ忠チュウ政テイ

元和ゲンワ三サン年ネンヨリ 十七シチ万マン石シヨク 松マツ平ヘイ濃ノ守シ定テイ勝ショウ

同ドウ 同ドウ 隆リウ守シ定テイ勝ショウ 隆リウ守シ定テイ勝ショウ

寛永十二年豫列松山所之

十石

寛永十二年ヨリ 松平越守定綱

同

同 榎津守定良

當城主

十石

松平下総守

同

○龜山定城 兵白り 百三石

代々城主 支次

岡本下野守

三石

関長守一政

後伯列里坂工所之

五石

松平不总守清直

元和九年榎山工所之

元和元年ヨリ

三石

三宅越後守康信

同

同 太膳亮康盛

五石

寛永十三年ヨリ

本多正徳守俊次

慶安四年近江膳所工所之

慶安四年ヨリ

五石

石川主殿次昌勝

寛文九年山城工所之

外之方名同姓備守細長外

七石名八上野阿波守三千石名

市正配命之

寛文九年ヨリ

五石

板倉源守重常

當城主

八石

松平和泉守

重常依子養子不周防守
寛文市正

同國 津之城 戸白リ百五里

代々城主之次男

天平十二年

織田上野景信

七万石 富田信濃守

慶長十三年ヨリ

藤堂和泉守亮

三万石 伊賀國共
内五万石元和元年加増五万石
同三年於城列和列等加増

同太宰公高次

當城主

同和泉守高敏

内五万石 伊賀守高通工
三千石 同 讀書配分之

同國 松坂

戸白リ

五万石 石余

古田兵部備前守

内三万石 慶長五年加増

同大膳大夫重治

石見濱田工所替

元和五年ヨリ

紀列領

同國 田丸

戸白リ

四万五千石

稻葉藏人道通

同淡路守紀通

元和五年ヨリ

紀列領

同国
○長嶋 江戸ヨリ 夏里中余

永禄十二年以後 瀧川左近將監一益

織田信雄持分

関原平次未居之

福嶋掃部助

慶長六年ヨリ 二万石 夏川減り正定益

同 志摩守定仍

同 織於正定芳

慶長十年元志守卒去依之
是芳遺跡ヲ継元和六年以前
昭所_上所_替

元和六年ヨリ 七千石_{在来名之外加増} 松平忠政守定勝

寛永五年ヨリ 同 松平義作守定房
日十二年_{存与}今治_所所_ウ

寛永十二年ヨリ 松平能登守定政
慶安三年三列_前屋_所所_ウ

二万石 松平佐渡守

當城至 二万三千石 増_マ對馬守正任

元禄十五年ヨリ 同国
○神戸 江戸ヨリ百一り半

永禄十二年以後 五万石 織田三三郎信孝

龍川左近將監益
羽柴宗徳守勝雅

慶長五年ヨリ 五万石 一柳監物直盛

大日本...

三万石

石川備守綱長

同

日若梗守綱良

富城全

同

日近守

日国

又居 空白り 百六リ

五万石

藤堂備前守

日四郡代

侍役料三千俵
水主四十六人

三千石

岡部後河守

日四津代官 参列共二
二百俵

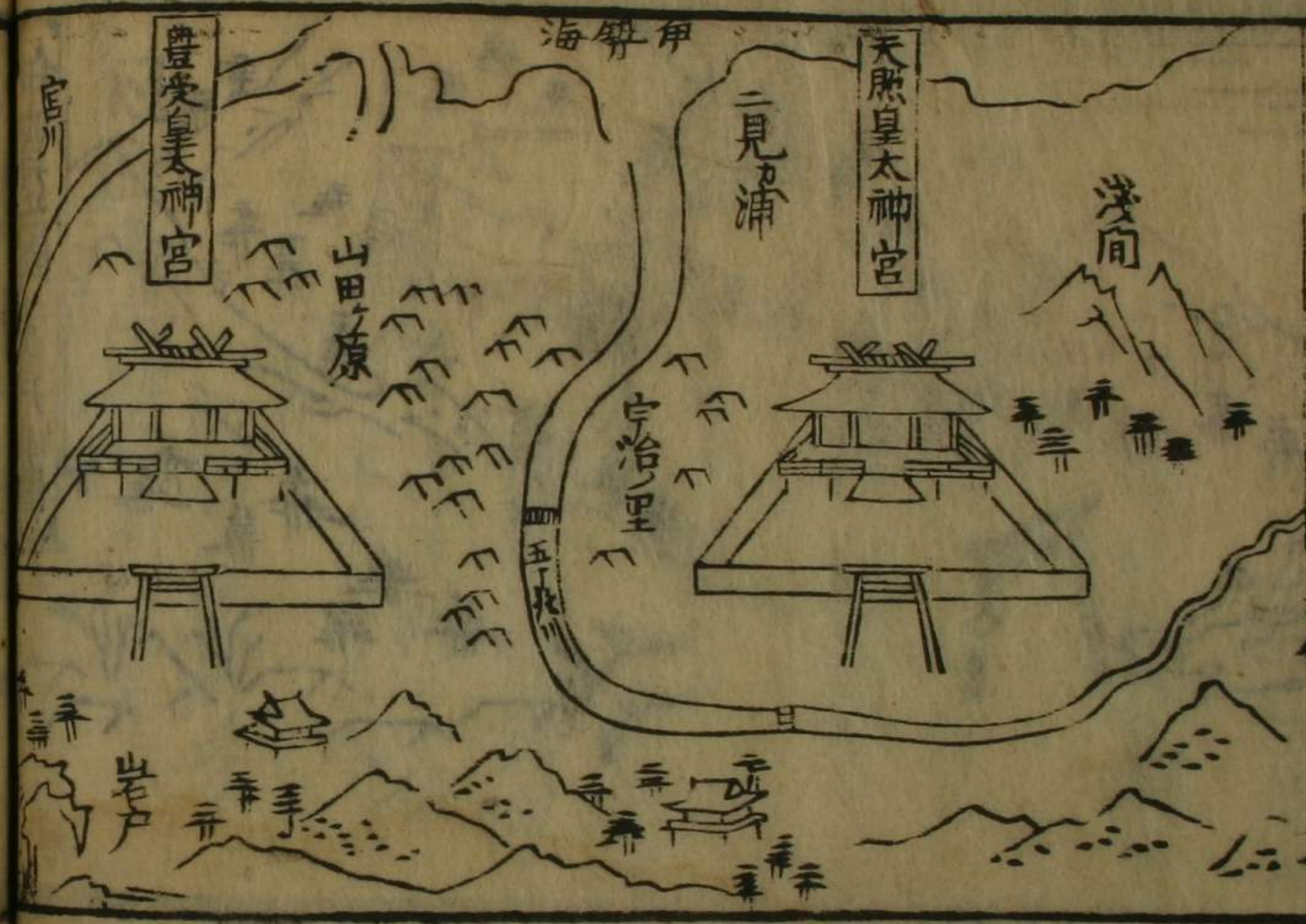
伊加賀之國 南區大明神



大日本...

伊勢之國兩宮太神宮

神洛川 河二
五十餘川



○同國神社之部

○伊勢兩所宮

内宮 神領四方平石

外宮 崇神天皇六年己丑天照太神
 御宮 崇神天皇六年己丑天照太神
 大國玉三神並に祭り 天皇
 大殿附 其後武仁天皇二十六年己
 九月十七日甲子天照太神と媛命
 乃乃の五平流の河上たうけりなると
 多く内宮とヤシなるる村上天皇
 乃乃宮祭至公命の河上皇太神ハ
 奥庭なるゆへに號内宮ト云く
 外宮ハ雄略天皇二十二年己未年秋七
 月七日豊受太神丹波國与佐の郡
 志井系より高祖後今郡山田の
 系に遷へなる内宮遷れたの後四百
 半四年也ト云く外宮とヤシなるる
 村上天皇の御宮祭至公命の河上
 豊受太神ハ皇太神より外庭

あつたはな社号あり下ま

内宮 八未社

外宮 甲未社

内宮祭主 中川長官
外宮祭主 中川長官

右テ合々宮勅設社外ニ祢宜正
祢宜九人 神作 春木大夫
隼人並外神作社人敷多

久宮炊道安未付

出の町ハ家敷二方物之所也上
町ハ八と名まひろ所と云所の丸の
乃ハ二間の社と云三社あり外宮
甲未の内也おまひろ所と行
るべく 乃久保と云所あり大社と
て表ニ二交と云下中の口と云
所あり 一河と云とるれと上丁や
下丁ハ 一と町あり宮庭所丸の
くは川宮とのえありをぬり上より

申なら下よりと云所あり上ありと云
祢りよと云伊勢の所也此川は洗
川橋あり小宮の橋と云神祢系
あり神は洗川と云水場は流あり
ゆくの池と云より流物と云るれも
之や古の宮あり丸の方ハお家乃
宮と云あり二乃を系ありせん
乃神門あり宮の足神門は一儀ハの所
門と云あり神所ハ外世と云此
あり宮のた右に 神の宮宝鏡乃
宮と云未社の宮あざ すす丸
のくまより初也甲未社 一乃供
殿と云の山せんらの宮玉乃宮風の
宮と云ハ大社也この外ハミハ社也
山の神乃水と云あり神はより天の
若人ハ皆汲道也若人のくま系
乃橋あり社本の下に神はの井と云
あり是ハおく所くはてお大社宮
まげもある神は神所へはく物と云
云也若人の上はくはて天系是

交ひに心算とありむ八十未社とめ
くはに依殿少々の宮とてなほ
まへにこの宮土の宮風のまをり社
ありと外ハまゝ小社也風のまを行
た右のまに他多う重なり交ひて
清田ま子取くるとあけあつた土浅
づもこのまをりまに捨あり風のま
へまこの又たは社まの清田利
山の社乃宮あり右に磯越へ道あり
山田より三里八丁あり丸の山上れ
あまふへが道ありこの社まをりま
まをりまへ早八町あり社乃岩殿
社まをりまをりまをりまをりま
あま池ありまをりまをりまをり
てわりまをりまをりまをりまをり
わたりまをりまをりまをりまをり
乃佛まをりまをりまをりまをり
一の仏まをりまをりまをりまをり
りまをりまをりまをりまをり

修房両宮の由り筆法よ書つ
てりわをりまをりまをりまをり
まをりまをりまをりまをり
まをりまをりまをりまをり

○真玉大の社 後金郡 白旗の郷之

あま社乃接由表の大社也社令下の
まをりまをりまをりまをり
れは玉の舞といふ社まをりまをり

○尾上神社 後金郡 阿比の郷之

○各神宮 白旗の郷 土橋の郷之

○小俣大の社 白旗 小俣村之

○大間の社 白旗 宮川之

○星川の社 負弁郡之

○穂積の社 羽の郷之

人ありてきんかうけいあり入
るり母の今日日向より日向の今日
いともありけるあ方の素より天たれと
とら死うれをきとせんさうりて日向の
んをあふりありたれのおあうきん
のこたのこうあんといんえんをんきよ
得せまのくかうけいありてのこくむ
しん入りすきりちん國へりきり
世阿弥あき寺とて中業とてきり也
多

○上立神社

○下立神社

○小立神社

○小山業作

○ゆき

社内より上立神社の名あり紫乃
ちを也古田氏列之と記す今も

同國諸宗佛樹大概

○羽籠山

百名 限家 金剛勝寺

寺依百寿石之

五百名 明王院

用山弘法大師是創寺と妙王院ト
号す其後正元和尚登山して一寺
と建之金剛勝とてかく興院
本寺の御軍地蔵前之座堂多并
ト云

○常妙寺 祥泉寺之 後舎邪之

茂寺ハ内外太神宮の傍に立所の
寺也此ちの額に兩太神宮西寺と
あり又此の傍よりその石塔あり

○池原堂

日所之

池原の傍より地蔵といふあるなる
美来る

○孝光院

日所之

寺依五百名

高寺比五尼所也

○不動院

三云宗

日所立

○蓮陽寺

修去宗

日所立

○中禪寺

禪宗

日所立

○大室院

三云宗寺凡百名

○靈嚴院

禪宗寺凡百十四名

○佛眼寺

春日御社別當寺凡百名

○言上寺

修去宗

山田

法皇上人日の丸也

○一身田

一向宗也

其後那立

寺門院の所は真慧建也

○雲光院

浦島村立

○林泉寺

修去宗

其後那立 山東立

本寺の所陀意是天作の作也村と
天白の所は天曆年中よりトク

○安美寺

禪宗寺凡百福寺未寺

佛通和尙用基りて寺の事也
とのりて寺の事也寺の事也
人よりたとの事也也はて寺
根元とのり

○高光院

修去宗

其後那立

○淨福寺

日宗

日所立

高寺の所は天皇の所也
伸建を下き

○業作堂

石業作立

高業作如來をんりん
出る石佛也とのりた也

○地蔵堂 園の石まじ

うのうと芝草の二体和る同元巨
と池傍のふた池也

○大蔵寺 志志ま

法苑の池
高寺の後名無院の池に日暮
人建之トキ

○妙光寺 休の村ま

日暮
大平村ま

○法蓮寺 多なるま

日暮
高寺の首正年中の建之因基日
隆上人トキ

○行福寺 大徳ま

日暮
高寺の首正年中の建之因基日
隆上人トキ

○蜜岩院 打ちま

同園名所之部

○於麻山 坂の下より五之坂なる也坂のふ

新麻津茶と云宮あり
於麻山の池の海を流るる也

あかざるれりともいふらん

○千代川 伝は於麻川と云園の石より於

麻の坂下をいへりあれと云
と云はるる也

八十代もあはれり也の比

○阿野の松原 あり初て春日に於て於麻川

八十代もあはれり也の比

後掛松豊園村

高松郡ありり西園の人集

そのははれは後を去るなりは是なり
個よりより一に其後人のありは是なり
ふるりて見ゆるなり三ヶ年まで
又の後ありし是等の言はは後とも
て是等の言はは是なりは是なり
る也

○星川 胡の里

海の名也日永川と云あり河野より
行約三里也川はより南へあり
より浦あり是なり

○粟名

日永の宿まで三里あり粟名も
海名あり

粟名よりより三ヶ年星川の
船名あり日永ありなり

○竹の宮

母宮の竹の宮所也山向より三ヶ年
定海を掃田川を河川の中ありはし
これ竹の宮也船名はよりより
ありはし是なり

○宮川

山田の入口也其川ありし是宮の人
橋とす也新古今新旅の言に
は定家

是ありては宮川のゆかり
ありはせよ是なりは是なり

○天照篇

信は天乃若者なりは外宮なり也
南方にあり北山に若者なりは是
は也は若者なり南向也は是なり
新海山松乃下道也は是なり
是なりは是なりは是なり

○新海山

山宮へは若者の人其川を後する
あり其川は山より西へ南より
は是なりは是なりは是なり
新海山松乃川のつらは是なり
は是なりは是なりは是なり
は是なりは是なりは是なり

湖越

内宮より一里半の海らりあり
こゝわり清の宮ともいふ也

赤らむのわりの世のゆかり
はよるれる相越の宮

三ノ浦

本宮の人世浦はひらくころとて
今後らむの世とさうりありとて
くはる世にひらくもと清の宮を
せんらす也

四ノ浦

惣名を浦とさうり色洞の浦
のこちあり

おちらむのあかむらじの海に
洞の浦はせらるるあり

五ノ浦

いそや若の松原の今をば
夕ひひて秋風をさく

六ノ浦

古の浦はさる神の浦ありあり

洞川

綿の浦乃く清の洞川の
可れ神一の浦はひらく
つらうとて世にさるるあり

七ノ井

あまの川水池と神の世にひら
人の清世にさるるあり

八ノ入

別々の世の清のありあり
いそはひらく世にさるるあり

阿彌の浦

星合の溪 逢坂の溪

千双海

大流の溪 千尋の溪

一志乃浦

是の浦は清の浦にさるるあり
各所也

車之巻

川口の園 小野

小燈井 穀乃野 林修
夜乃分のみを後今のところの
名所依之より所也

同國名物

綿 細 木綿 海老 馬力

蚶 杓子貝 蛎 鮑 蟹

鯨 鮑 蛤 名物 音吉

防風 二夏の浦乃漢

海松 海蘿 国修若和布

同荒布 鹿尾藻 其苔

串柿 柳 侯谷ト三 同推草

黒柿板 曆

水銀 爲國丹生山 櫛 留

物指 日所 所日根 地外宮

内宮ハ七本あり林年より配之
地風ハあされハ高のりと云 宇治乃

真采 本の下と云所 阿比山宮履

緝形 爲國白子と云所之作之

白粉 庚 爲國阿比の地

有奈 作中繩 爲國の地

儀系 爲國と云所ハ少ク高ハ儀
儀系ハ少クと云所ハ少ク高ハ儀

○江戸方東と云東海道乃

法付當國中ノ印

尾所 爲國 七里

○宮之表方 爲國 七里

北海、本有る川のすたはて水はて
ねれはひさしねとんあし、はなみ
くく、あ、こ、所あり、依てさると云
所へまありて、さ、海よりたのこ
に、娘、つとまあり、まに、能、さ
玉、丸、うた、た、さ、修、治、浦、の、徳、く、之
わ、さ、り、こ、ろ、い、あ、い、る、也、つ、さ、る、尾、張
乃、海、つ、こ、と、つ、り、も、北、海、上、の、り、也、を
り、り

○桑名 四日市 三里所

宿のたれ、こ、に、城、あり、○や、この、河
の、た、さ、の、村、○や、あ、村、○所、在、村、川
あり、橋、百、六、十、万、あり、去、橋、○か、村
○と、あ、村、○く、花、村、○あ、さ、け、川、橋、を
去、千、一、万、去、橋、也、○松、寺、村、○も、ら、ぶ
く、村、○こ、ろ、の、村、○こ、ろ、川、橋、あり、去、
十、万、云、橋、○こ、ろ、川、○す、く、去、橋
去、千、三、万、あり、四、日、市、乃、入、口、也

○四日市 石業所 二里所

北、海、上、の、村、○こ、ろ、の、村、○
た、の、こ、ろ、松、東、の、こ、ろ、に、大、村、宮、の、村、
○ひ、さ、の、村、○か、い、ま、け、所、ま、う、り、た、の
く、之、修、治、海、た、あり、さ、り、あり、四、日
市、より、修、治、山、田、ま、え、の、た、は、は、ま
に、ま、り、守、之、○か、こ、ろ、村、○こ、ろ、あ、所、
橋、あり、長、五、十、万、也、○杖、つ、こ、村、返
あり、ま、ん、ぢ、と、う、り、也、○土、名、と、ら、み
所、ま、り、あり、○大、名、と、云、所、ま、も
ま、り、多、く、○ま、り、の、ま、た、の、こ、ろ、
東、の、う、ら、い、に、修、治、業、所、あり

○石業所 三里所

右、の、こ、ろ、に、修、治、あり、所、の、お、ろ、ろ、れ
た、の、こ、ろ、に、取、の、下、に、業、所、業、所、あり
北、本、さ、り、地、う、り、ま、り、出、し、石、山、あり
と、ら、修、治、所、の、若、と、せ、と、ら、り
○う、の、河、た、の、こ、ろ、に、修、治、川、より
あ、れ、れ、れ、修、治、川、あり

○桑野 桑名 一里所

桑、名、依、り、こ、ろ、の、名、物、あり
○こ、ろ、の、こ、ろ、○中、と、ら、り

○西より八王子の支あり○筑摩川
○つらつら橋とせしるあり北川と東
川と云ふ○おむ村○ふせん下たのこ
にたあり白子若おの海見
○川合村入は橋ありとせしる
○この村○新町入はより赤山
城と云ふとれありとせしる

○赤山が 園地を二里
宿のちりた城のたはあり○城
た乃つた砂川あり○おらら村
○園川園の入口は遠方ありた
へりし修治夫と宮と道と○世
園とせしるありとせしる
よわり筑摩の支は志願あり不
破の支は志願ありとせしる
わさ飯よりとせしる東とせしる
むりの筑摩の支はありとせしる
とせしる也園火種とせしる
若おのたのちり支は地元の支
ありむり一休和志の支はあり

○筑摩川 坂の下を 一里
ひら川と云ふとせしる
○この村○新町とせしる
老とせしる也
○坂の下を 去山を 二里

是より末之宿とせしる東山道
八ヶ畑の辺に園とせしる

○當國四日市より同修治
山田と道法付

○四日市より 二里
赤子より 一里
白子より 一里
上野より 二里
津より 二里
雲海より 二里
松坂より 二里
おららより 四里
山田を 一里

○某柳堂

松原村に在

○成庵寺

山田郡に在

曹洞宗也

高寺の美和年中の建之因山如聖
和尙ト云ク

○好来寺

始に在

浄土宗也本寺は深院行基乃
所作也ト云ク

○法光院

西尾川に在

同宗也

○観音堂

所産村に在

高観音の春足作ありと云ク
らんがりト云ク

同國名所之部

○誰其森

高國ハニク名所ありと名譽
見くより東海に在るよし云ク

と云所のまこと云ク

○氣根森

さよあけの指の森の氣根
みのりふくまるとなるなり

つれづれともの池に在るなり
あつくさるる氣根なり

○急の湍

拍野

同國名物出所

○同業 家裏真徳古三所
高國根本也

○焼物

紅花

新茶古

○松茸



